

事業所名 総合療育センター のびっこワールド

回答 8 / 配布 9

公表日 令和 7 年 3 月 1 9 日

	チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	5		・現在の利用人数（5人前後）でのスペースでは適切であり、利用時間や場所を分ける等工夫している	・保育室に利用児、保護者、職員が集まるとスペースは狭く、体を動かしたり走ったりする時や運動機能に遅れがなく、危険予知に配慮を要す利用児が多い場合には、児同士が接触する場面ある。利用人数に合わせ、部屋やスペースなどの検討が必要である。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		・利用人数や活動のねらいにより、職員数を調整し部内で協力しながら対応している。	・活動のねらいや利用児の特性をふまえ、同じ部署で応援体制を作りながら、業務分担及び業務改善を行い部内連携を図りながら取り組んでいく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		・部屋ごとに活動の部屋を分けている。同じ空間内でも、構造化している。	・保育室と活動室の間にトイレがあり、活動室へ移動する際、パーテーション等でプライバシーの確保が必要である ・現在の利用児には支障ないが、利用児の特性に合わせて調整や工夫を行っていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		・生活場面に合わせた居室の使用と環境が区分されている。壁面装飾もされ子どもたちが楽しめる環境を提供している ・活動後は、使用した物や部屋の消毒や清掃を行って、週に1回、広範囲で消毒による掃除を実施している。	・活動空間に危険因子が潜んでいないか、ヒヤリハット事例を検討し、安全空間を提供していく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	1		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0		・朝のミーティング、活動後の振り返りや翌日のねらいを職員間で話し合うための所要時間を決めている。	check（評価）を丁寧に言い、plan（計画）Do（実行）に繋がるよう、カンファレンスの時間配分を改善していく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		・保護者意見交換会前に児童発達支援事業所アンケートを配布し、ご意見を頂き、改善策を検討している。	・保護者意見交換会前に児童発達支援事業所アンケートを配布し、ご意見を頂き、改善策を検討していく
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・児童発達支援事業所従業員向けアンケート調査を実施し、意見を業務改善に繋げる機会がある ・定期的な会議で、職員同士の意見交換に努めている	・会議等で意見を吸い上げ、働きやすい職場作りや心理的安全性が保たれる環境作っていく
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		・令和5年度の実績結果を基に、令和6年度は指摘事項をふまえ、ワークライフバランスを見直し、時間外勤務や部内の応援体制を整えた。また事務室内に休憩室の確保を行い改善に努めた	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		・研修に参加することで、通常業務等に支障がないよう、参加人数や業務調整に努めながら、各職種及び能力段階に合わせた研修への参加や、自己研鑽を行っている。 ・保護者向けや他事業所向けの研修にも同席し、自己研鑽に努めている	・引き続き、外部への研修参加への促しを行っていく
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		・今年度から5領域に沿ったプログラムをHPで公開した	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		・保護者からのアンケートや意向を基に、評価ツールの使用や活動のアセスメントを各職種で検討し、支援計画を作成している	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		・多職種で作成する支援計画を強みに、ご家族のニーズに沿ったわかりやすい記載内容とするよう心がけている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2		・個別支援計画や課題整理表の内容を意識しながら、活動を実施している	・計画に沿った支援が全ケースに対して行われているとは言い難い。個別支援計画の優先順位にとらわれず、ニーズに沿った支援を心がけていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	1	・アセスメントを適切に運用できる職員に限られており、活動後の振り返り、記録等で、アセスメント方法の共有につとめている	・インフォーマルなアセスメントについては、とくに職種間の差をミーティング等で埋める必要あり今後スキルアップを図っていく

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・5領域に分けられた課題整理表で具体的支援内容を明記している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・個々の児童の課題を整理し、チームで立案できている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・個別のニーズ・課題や季節を考慮した活動プランを提供し、年間または月間に分けて行事を組み立てている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	1	7	・日々の活動は、利用人数や個々のねらいに応じて実施し、活動の様子をアセスメントし支援計画を作成をしている ・プログラム案回覧によって、いろいろな意見を聞く機会がある。	・個別活動の設定は出来ていないので、ニーズに沿った活動設定を検討していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・前日に活動設定や目標設定を行い、朝のミーティングで支援の内容やねらい、職員の動き等確認しチーム連携しながら実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・活動終了後の振り返りで5領域に分けて情報を整理し、職員間で対応や支援内容を確認している ・利用児童一人ひとりの振り返り時間を設けている。	・業務が多岐に渡り、電子カルテ上での供覧のみで振り返りを済ませてしまうことが増えているので、掲載のポイントを絞るなど、共有方法の検討をしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・電子カルテに振り返り時のフォーマットを作成し、支援内容を記録している。次回利用前に前回内容を確認し支援を行っている ・振り返りの内容を、記録に残している。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・6カ月に1回保護者アンケートを行い、自宅の様子把握や、園訪問、相談支援専門員の家庭訪問同行などにより収集した情報を基に計画の見直しを行っている		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・児童発達支援管理責任者及び療育に携わる専門職が同席している。関係機関にも声をかけ会議を利用し共通理解を図っている	・今年度は児童発達支援管理責任者を中心に参加しているが、他スタッフが参加する機会があっても良い。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・支援スタッフに加え、主治医、相談支援、就園先、保健師等も会議に参加している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・地域保育所、地域事業所、特別支援学校の見学に同行するなど支援している ・移行時には支援会議等を行い、相互理解を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・就学先と移行支援会議を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7	1	・西部圏域事業所意見交換会を行い、地域の事業所との顔の見える関係を持ち、連携を図っている	・児童発達支援事業所同士の交流は設けているが、センター間の連携はまだ十分ではなく今後強化していく
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8	0	・県内療育機関等と交流会を継続して実施しており支援についての考え方の土台やスキルアップに繋がるよう意見交換会を行っている。 ・職種や能力に合わせた外部研修参加を促し参加出来ている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	0	・適宜、児童発達支援管理責任者が自立支援協議会こども部会に参加している	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	/			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	・コロナ禍以前は地域の保育所等と交流があったが、コロナ禍以降、実施していない。今年度は、園外保育や遠足など、地域資源を利用する機会はあったが、子どもとの交流の機会はなかった。	・目的を整理し検討をしていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	・活動中、その前後など保護者と話す機会や療育ノートを通して、発達段階に合わせた助言を行い、ねらいや課題を共通認識しながら関わっている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・ペアレントトレーニングは、のびっこ版で行ってきた。低年齢の児童も多く、ペアトレをもっと簡素化したやり方をパパママ会(保護者交流会)などで取り入れた ・事前に計画を立てて取り組んだり、その日の利用者に合わせて必要時にペアトレや保護者会なども実施した		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時には必ず説明を行うと共に、支援プログラムについてはホームページに掲載している	・契約時に書面にて説明を実施している。契約時の内容が多岐に渡り、保護者が情報をすべて理解することは難しい状況があるため、運営規程、支援プログラム、利用者負担など通園部廊下等への掲示等工夫が必要。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・保護者のニーズを聞き取り、個別支援会議に於いて、保護者自身からニーズや取り組んでみたいことを発表する機会を設けている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援会議後、再度計画を説明し、保護者に同意及びサインをもらっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・療育ノートも活動しながら、相談や悩みに対応し、都度アドバイスを行っている。相談内容によっては、相談支援専門員と連携を取りながら、適宜面談を実施している	・職員間で差がある
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・保護者勉強会や保護者交流会を通じて、同じ悩みを共有したり、同じ疾患同士で交流できる機会を設定をしている。 ・きょうだい同士の交流の機会は設けていない。	・次年度、家族参加日にきょうだいを含め参加を募ってみる
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・お便りは月1回発行している ・年間行事計画作成しホームページで公表している ・ホームページに活動の様子を掲載し発信している	・お便りやホームページで活動内容や行事、職員の取組等について情報は発信しているが、保護者からはホームページの更新回数を増やして欲しいと要望があり検討の必要がある
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・手渡し文書や配布物が多く、個人情報の取り扱いには、個人トレイを作成し留意している。また個人情報DBに入力シダブルチェックを実施。安全確認行動について勉強会を実施し方法を統一した	・個人情報の取り扱いについては、部内で年間計画を立て、ヒヤリハット事例検討やKYTなど実施し、安全行動確認を強化していく
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・会議や話し合いの場では、必要に応じてマスクを外したり、会議内の発言をパソコンで表示する等の対応を行った	・個人のニーズを確認し、配慮に努めていく
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	・感染対策の観点から、コロナ禍前の状況には戻っていない。	・当センターの感染対策基準に基づいて検討をしていく	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・当センターに医療安全委員会、危機管理委員会、感染対策委員会があり各委員会のマニュアルに基づいて実施している。 ・防災訓練に関しては月1回様々な災害を想定し保護者利用児と一緒に実施している。契約時に重要事項説明書に沿って周知している	・防災訓練は、引き続き利用者も参加型とし、防災意識を高めていく必要がある
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・令和6年度BCPを作成したが、実際の運用には至っていない。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・入園時、アンケートの記載や母子手帳内容、予防接種歴の確認を実施しており、不明な点は再度聞き取りを行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・アンケートを基に確認しているが、特に、給食開始前には、アレルギーの有無、未摂取食品の有無を確認し、該当食品は除去している。不明点は再度聞き取りを行っている。医師に食事オーダーの指示依頼をしている	利用者が低年齢化しており、未摂取食品の有無についての確認は丁寧に実施していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・インシデント（ヒヤリハット）0レベルでの対策対応を検討している	・ヒヤリハット事例検討やKYTなど実施し、安全行動確認の強化を行っていく
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	・危険を予知し、安全確保を家族と予見し対応を行っているが十分ではない	・危険を予知し、安全確保を家族と予見し対応を行っているが、予想を超える事案も起きており、インシデント0レベルでの検討対応が必要である。家族にも注意喚起をしながら支援を行う
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・インシデントレポートは0レベルから提出しており、未然の対策が実施できた事例もある。レポートは速やかに作成し対策を立て部内で周知できている	・危険を予知し、安全確保を家族と予見し対応を行っているが、予想を超える事案も起きており、更にインシデント0レベルでの検討対応が必要である
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・院内研修に全員参加し適切な対応に努めている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・身体拘束適正化委員会と身体拘束最小化チームで検討され、指針に沿った対応を行っている。また身体拘束の同意及び個別支援会議に於いても説明を行っている	